

「霞が関合同庁舎3号館屋上庭園」の概要

整備目的：既存建築物への屋上緑化技術の適用検討と屋上緑化の効果の検証

面積：約1,700㎡（うち公園緑地・景観課所管分：約500㎡）

内容：

- 中高木 約50本
（エゴノキ、ソヨゴ、ゲッケイジュ等）
- 低木 約220㎡
（ツツジ類、ボックスウッド、ローズマリー等）
- 地被類 約250㎡（セダム类等）
- 芝生類 約730㎡
- 池・流れ 約40㎡
（空調機器からの排水や雨水も活用）
- その他園路等 約460㎡



<主要施設>



屋上庭園の特徴を解説板で紹介しています。

中高木から地被類まで、多様な植栽の生育状況を調査や昆虫・鳥類の調査もしています。